

## やきもの展のご案内

LIXILギャラリーは株式会社LIXILの文化活動としてやきもの展を開催しています。タイルから茶碗まで、やきものは私たちの心豊かな暮らしを彩ります。「生活とアート」をコンセプトに、森 孝一氏(美術評論家・日本陶磁協会常任理事)をアドバイザーに迎えたセレクションです。

# 島村光展 「十三支・おくれてきたねこⅣ」

会期:2018年6月28日(木)~9月3日(月)

会場:LIXILギャラリー



「十三支・おくれてきたねこⅣ ウサギ」  
2018年 H235×W100×D100mm

### | 本リリースに関するお問い合わせ先 |

LIXIL ギャラリー ( <http://www.livingculture.lixil/gallery/> )

所在地: 東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル LIXIL: GINZA 2F

担当: 大橋恵美 田村志保

TEL: 03-5250-6530 Email: [xbn@lixil.com](mailto:xbn@lixil.com)



<http://www.livingculture.lixil/>

LIXIL ギャラリーでは 2018 年 6 月 28 日 (木) ～9 月 3 日 (月) の期間、島村光展「十三支・おくれてきたねこⅣ」を開催します。

島村光氏は岡山県にて 40 年にわたり備前焼の作品を制作しています。その中でも干支をモチーフにしたシリーズは、動物の魅力を独自のさまざまなデザインに置き換えて表現したウィットに富んだ作品です。

今展では十二支に、猫を入れた十三支をテーマにした作品 13 点を展示します。

備前焼の焼き締め技法による優しい色合いのキュートでモダンな動物のオブジェをご覧ください。



「十三支・おくれてきたねこⅣ ネコ」  
2018 年 H250×W80×D70mm

## 開催概要 | 島村光展「十三支・おくれてきたねこⅣ」

**会 期** 2018 年 6 月 28 日 (木) ～9 月 3 日 (月)

★アーティスト・トーク

日時：2018 年 6 月 27 日 (水) 18:00～18:30

\*休館日となりますが、アーティスト・トークのみ開催します。

**休 館 日** 水曜日、8 月 11 日 (土・祝) ～15 日 (水)、8 月 26 日 (日)

**開館時間** 10:00～18:00

**企画制作** 株式会社 LIXIL

**会 場** LIXIL ギャラリー

**入 場 料** 無料

**会場写真** <http://www.livingculture.lixil/topics/gallery/g3-1806/>

## | 展覧会の見どころ |

島村光氏は岡山県出身の備前焼の作家で、40年にわたりオブジェを中心とした作品を制作しています。

備前焼には、「備前焼細工」という江戸時代に藩主保護奨励のもと、獅子や布袋、動植物の置物や香炉の細工物が繁栄した歴史があります。島村氏は大学の絵画科を卒業後、オブジェや彫刻を制作する現代美術作家として活動をしたのち、備前焼の細工物を制作するようになりました。

釉薬を使わずに、焼き締めた土の表情だけで表現をする備前焼ですが、島村氏は高い技術をもち、伝統を踏まえつつ独自の現代的な造形を生み出しています。今展では十二支をモチーフに、猫を加えた13種類の動物による「十三支・おくれたねこ」シリーズの新作を展示します。

折り畳んだ紙をジャバラに拵げて成形したようなバイオリンを弾くウサギや、ジャンパースカートがおしゃれな大きな瞳の猫など、まるで絵本の世界の登場人物のような物語性と、大人のユーモアとペーソスを感じさせる作品です。

## | 作者略歴 | 島村光 (SHIMAMURA Hikaru)

- 1942 岡山県長船町（現・瀬戸内市）に生まれる
- 1962 浪速短期大学（現・大阪芸術大学短期大学部）絵画科卒業、工芸関係の職に就く
- 1975 近世の備前焼細工物に惹かれ、陶芸の道に進む
- 1978 長船町に穴窯を築いて独立する
- 1990 備前市久々井に移り、登り窯を築窯する
- 1997 初個展「十三支・おくれたねこ」（しづや黒田陶苑／東京）
- 1998 個展（DAI ICHI ARTS／ニューヨーク）
- 1999 個展（明日香画廊／岡山）
- 2000 個展「ちいさなたからもの一秋から冬へ」（しづや黒田陶苑／東京）
- 2001 「二人展」（工房 IKUKO／倉敷）
- 2002 個展「備前細工物に遊ぶ ～窯辺のスケッチ」（岡山天満屋／岡山）
- 2003 個展「窯辺の風景 ～作品～」 （しづや黒田陶苑／東京）
- 2004 穴窯を築窯する  
個展「はつがま ～泡瓶～」 （しづや黒田陶苑／東京）
- 2005 個展「泡瓶で Tea for two」（岡山天満屋／岡山）
- 2006 個展「六十三の心音」（しづや黒田陶苑／東京）
- 2007 個展「さいくもの」（岡山天満屋／岡山）
- 2010 個展「壺」（しづや黒田陶苑／東京）
- 2013 備前市指定無形文化財「備前焼の制作技術」保持者に認定される  
個展「窯辺のスケッチ」（岡山天満屋／岡山）
- 2015 岡山県文化奨励賞受賞  
「変わらざるものの尊さ 島村光と古陶の共演展」（黒住教宝物館／岡山）
- 2016 山陽新聞賞「文化功労」受賞  
マルセンスポーツ・文化賞「マルセン特別賞」受賞
- 2017 「島村光・金重有邦・隠崎隆一展」（岡山県立美術館／岡山）  
個展「土を編む 島村光展」（天満屋 八丁堀美術画廊／広島）



LIXIL は、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それこそが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTURE を表現していきます。LIXIL は、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界の人のびとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。